

わくわく橘っ子

橘小学校

人権教育便り NO. 6

令和6年7月



～「阿南市人権教育・啓発市民講座」から学ぼう～

第2回 講師 徳島県人権教育指導員・徳島県人権問題講師団講師・
(公財) e-とくしま推進財団理事・徳島文理高等学校
非常勤講師 湯浅 眞典さん

演題 「ネット・SNSによる人権侵害、あなたは大丈夫？」
～加害者にも被害者にもならないために～

【感想】

子供、大人、高齢者など様々な方がいる社会で、ネットやSNSに対してリテラシーが低い方ほど、加害者または被害者になりやすいことを知りました。また、子供は大人より狭く限られた集団の中で生きているため、ネットの世界が全てだと勘違いしやすいとの話を聞き、まず、自分を大切に、相手の事も大切にする、この二つをしっかりと頭におき、今後インターネットやSNSを使用していけるように、子供達と話したいと思いました。

～子供達の登校・下校の様子～

ある保護者の方から、心温まるお手紙をいただいたので、紹介します。橘小学校の「大きい子が小さい子の面倒を見る」校風と伝統を感じることのできるお手紙です。

毎朝、1年生の姿が見えると、待ってくれる優しい上級生がたくさんいます。学校まで、長い道のりを一緒に歩いてくれます。

下校時も、家周辺になると、上級生が通学路(脇道)に誘導してくれ、脇道を1年生が一人で歩く姿をしばらくの間、上級生が心配そうに見守ってくれます。

あまりにも素敵なお手紙に感動する毎日です。

